

鐵と鋼 第參年 第九號

大正六年九月二十五日發行

製鐵業に關する合同

野 呂 景 義

凡そ事業の發展を謀らんには先づ其基礎を鞏固ならしめざるへからず、就中我製鐵業は常に強敵の包圍攻撃を受け危地に陷るの憂あれば殊に之に對抗すべき完全なる防備なかるへからざること余輩の屢々切言する所なり、政府に於ても茲に見る所ありてか今回製鐵業獎勵法なるものを發布せられたるは斯業の爲め甚た賀すべきなりと雖も、遺憾ながら該法は一時的に二三製鐵會社の創立を賑はす位に止り此大事業の根本を養ふに足らざるのみならず反て將來に惡影響を來すの恐れなきやを保し難し。今日は最早小策を弄し安閑として居る時に非らず、宜しく些々たる情實の犠牲たることなく的確たる政策を講し以て本業の獨立を圖るべきなり、然らば其政策如何と云ふに別に新發明に苦心するにも及はす唯々各國一般に行はるゝ所の輸入税及産業組合法等を適用せは可なり、而て其方法の梗概は余輩已に本會誌に開陳したることあるも尙ほ茲に合同に關し聊か愚見を吐露し以て世の教を乞はんとす。

今余輩か茲に合同と云ふは其範圍甚た廣く合同、協力及聯合等を總稱するものにして之を分て(一)學理と實業(二)資本と勞働(三)同業者(四)政府と民業者の合同とす。

(一)學理と實業の合同 學理は萬業の基礎にして製鐵業も亦た學理に基て發達すべきか故に歐米諸國に於ては種々なる研究所の設ありて、其研究の結果は直ちに實地に應用せらるゝと同時に各製

鐵工場は日々新に研究材料を提出し相互連絡して斯業の發展を講しつゝあり、然るに本邦に於ては此種の設備甚た乏し然も各工場並に學校等に於て夫々研究し居るものもあるも一般に涉り余輩を満足せしむるに足るものは實に皆無なりと謂へし、幸に近頃理化學研究所の設置せらるゝの機運に至りたるは寔に歡喜すへきも、僅か一研究所に向て萬業の研究を望むは甚た無理なる注文にして且つ該研究所は元來化學工業の研究を本位とするものなるか如く、現に其役員中に製鐵に關する實地専門家は一人も加はり居らざる有様なれば此所に於ては製鐵業に關し十分なる研究を爲さんことは或は難事ならんと思考せらるるか故に、余輩は有志者の保護に依り本會に完全なる一研究所を設け廣く斯業を保益せんことを希望するものなり、歐洲戰爭の結果は各國に於ける製造業の競争は益々激烈を加へ何れも學理本位の所謂獨逸風の方針を執らんとするの傾向あるは諸新聞雜誌の報する所に依るも明白の事實なれば我國も大に此に意を用ひざるへからず、殊に近來各國は我製鐵業の發展に注目し居るか故に從來の如く外國に渡り彼の製造法等を調査することは愈々容易ならざるへければ益々内地に於て研究の必要を感ずるに至るや論を俟たす。

(二)資本と勞働即ち雇主と被雇者の合同 雇主と被雇者は共に協力一致して事業に従事せざるへからず而て之か現實は蓋し兩者の間に利益の共通を行ふとか最も適切なる方法なるへし、今世に行はるゝ所の利益共通の方法は一二に止まらざるも余輩の愚案は(一)被雇者に多少に拘らず投資せしむること(二)三ヶ月若しくは六ヶ月毎に收益額を公示(或は各級の代表者に示し)其一定率分を被雇者に分配するにあり、利益の分配は現に所々に於て行はれつゝあるも其方法は前記の如くならざるものありて往々不平を醸すことあり、又た配當の標準に就ては或は給料高に準するあり或は勤惰に據るものもあるも全體に比較的高級者に厚ふして下級に薄し然るに余輩の案は職務の難易及其輕重を標準として一定の率を定めんとするにあり、例は某工場長には其給の高並に勤惰の如何に拘はらず

常に一定率の配當を與ふるなり、然も勤惰及能率を無視するものにあらず、懶惰なるものは黜陟し精勤にして能力あるものは拔擢して昇進せしむるは無論なり、今諸會社等の状態を見るに重役等は比較的多額の配當を受け下級の者は勤勞多きにも拘はらず其得る所は反て多からざるか故に不平を生ずるの弊を免かれず當業者たるもの宜しく此點に就て研究すへき必要ありと思考せらる。

(三)同業者の合同 同業者の合同にトラスト、コルポレーション、シンジケート、カルテル等種々なる名稱あるも余輩は便宜上茲に之を總括して同業組合と云ふ。

歐米諸國の工業家、經濟家、並に政治家の説を概括するに同業組合は若し適法の制裁の下に組織せられなは一般製造工業に對し經濟上有益にして此方法を行ふ國をして世界の市場に於て優勢の位置を保持せしむへしと云ふ點に於て一致せるものゝ如し、殊に前獨國藏相の如きは過去二十五年間獨逸諸製造業の隆盛に赴きたるは偏にカルテル組織に因るものなりと極言せり、故に現今諸外國の製鐵業にして同業組合を組織せざるものは殆んど稀にして彼の有名なる米國のスティール、コルポレーションの如きは遍く世人の知る所にして同組合近時一ヶ年の産額は一五、四六〇、七九二噸にして利益金三三三、五七四、七九二弗即ち賣品一噸に付二十一弗五十八仙なり、歐洲諸國に於ても同業組合は日に月に増進し今其二三の例を舉ぐれば、

伊國 伊國の製鐵業は我國同様未だ甚た幼稚なるにも拘らず同國には完全なる同業組合あり此組合は一九一一年に組織せられ六會社より成るものにして其資本總額は僅々五千三百萬圓餘に過ぎざるも極めて盛に活動し居ると云ふ。

佛國 佛國の鐵鋼製造業に數多の同業組合あり就中其最大なるものをロングウキー組合とす、此組合は十八會社より成り二十ヶ年繼續の契約を以て一九〇九年に成立し其産額は全國の約七割を占め毎月其製造に係る骸炭及銑鐵の賣價を協定し特に輸出機關を設けて組合各會社の外國輸出を

取扱ひ居ると云ふ。

白國 白耳義の製鋼組合(戦争前のことを云ふ)は獨逸の夫れと同様の組織にして半製品に關しては兩者の間に特約ありしと聞く、其販賣部はブラツセル市に在りて凡て内外の賣捌を取扱ひ居れり其他白耳義の鐵鋼業者は何れも小組合を結ひ利益を共通しつゝありたり。

英國 英國に於ては漸次小會社を併合して大會社を組織するの傾向あるの外猶ほ賣價及産額を協定し以て外品の輸入に對抗するの目的にて組織せられ組合の數は夥多あり、其中製鋼組合にして最なるものはスコツチ、スチール、メーカーとノースブイイングランドの二者にして各區域を限て賣價を一定す、其他鋼板、トタン板、レール等の組合ありて何れも賣價を協定しつゝあり。

獨逸 獨逸の製鋼業組合は殆んど他に比類なき優勢のものにして同業の團結力が政府の保護と相俟て如何に巨大なる國家事業を起し以て其製品を世界の到る所に輸出し得るかを證するに好適例を示すものなり、此組合に屬する重なる製鋼所は三十一ヶ所にして彼の有名なるクルツプ社も其中にあり、其本部及販賣部はジュツセルドルフ市にありて一九一三年に該販賣部が取扱ひたる鋼材は實に六百三十三萬噸に達せりと云ふ以て其業務か如何に盛大なるかを知るべきなり、同組合には輸出の補助に關し甚た有力なる機關の備はるありて世界の競争に勝利を得んか爲め實に多額の補助金を支出し居りて一九〇四年より一九〇八年の間に八百五十萬圓の大金を支出したりと云ふ、此輸出補助金は獨り製鋼業に止まらず石炭其他の組合も亦た等しく補助金を支出し居りて今一九一三年に於ける各品に對する補助金の高を舉ぐれば各一噸に付き左の如し。

石炭組合は輸出を目的とする製銑用に供する石炭に對し六月には七十五錢を與へ十月には之を高め同用に供する骸炭及骸炭用の石炭に一圓二十五錢を與へ十一月には元の七十五錢に復せり。

製銑業組合は輸出用製品の原料として使用せらるべきものに對し六月には二圓三十七錢十月に

は三圓二十錢を與へ翌年の一月には二圓三十七錢に復せり。

製鋼業組合は半製品に對し七圓五十錢を補助したり。

製線業組合は線材に五圓七十五錢線釘に八圓二十五錢を給せり。

鐵鋼業に關する獨國の組合は一八九二年に組織せられ最初は單に賣價の統一を目的となしたるも漸次必要に迫り共同販賣の組織を見るに至たり而て獨逸の組合は何れも高率なる輸入税の保護に依て成立し國內の競争を避け諸工場は皆市況の如何に拘はらす何時一定量の製品を産出し國內に餘る所は組合本部の補助を受け廉價に之を外國に輸出すると云ふ政策に據るものなるか故に各工場は生産過剩の憂なく十分の能力を發揮し以て製造費を低廉ならしむるの大益なるか故に此政策は國家經濟上誠に良策たるや疑を容れず然れ共國內に於ける需用者の側より見るときは需用者の負擔を以て輸出を補助するとの疑を生し易く爲に一時は不平を訴る者を出すに到りたるを以て獨逸政府は一九〇三年に同業組合の利害に關し調査會を設け精密なる調査を遂げ數部に亘る報告書を公にしたることあり學者は一般に同業組合の有益なるを認め亦た政府も其説を是認したるものなるか兎に角其翌年即ち一九〇四年には有力なる諸組合を打て一丸とし彼の有名なる組合即ちスタールウエルクスフェルバンドの組織せらるゝに及び國內の需用者も其後は前日に異なり不平を鳴さざるに至りたるを見れば前述の政策か事實に於て彼需用者に惡影響を及ぼさざりしを證するに足るへし其後該國の製鐵業は高率なる輸入税と直接間接に政府の保護ある同業組合の效力に依り長足の進歩をなしたるは世人の遍く知る所なり。

以上述る如く何れの國にも同業組合の設のあらざるはなく而て其利害の關係は其組織と國狀に依て自から異なれ共一般に云へは同業組合は無益の競争と粗製濫造の弊を避け且つ賣捌費其他冗費を省くの效力あることは争ふへからざる事實にして輸入税の賦課と相俟て外品の輸入を防ぎ以

6
て産業の發展を謀るの最良策たるや疑を容るゝの餘地なければ、本邦製鐵業者に於て速に之か組織に着手せられんことを希望して止まず、而て組織如何に就ては已に本會誌に於て余輩希望の要點を披露したることあり即ち左の如し。

一同業組合は官設、私設の各製鐵所より成ること。

一組合に於ては各製鐵工場に於ける製品の種目、數量及賣價を協定すること但し官設製鐵所に於ける政府用の製品は此限に非ず。

一各私設製鐵所の製造高は市況の如何に拘はらず非常の場合を除くの外概ね一ヶ年一定の量に止め其増減は官設製鐵所に於て調節すること。

一組合に金融機關を設け低利を以て短期の需用に應ずること。

一政府に於ては鐵鋼材の輸入税を或る程度(現率の約五割)まで高め之より生ずる増收入を以て組合を補助すると同時に賣價の制限、製品の輸出等に關し適宜の取締法を設くること。

(四)政府と民業者の合同 官民の合同とは兩者共に國家を本位とし、本邦製鐵業の獨立及鐵材の供給又た進んでは製品の輸出を謀るを共同の目的とし、相互に隔意なく胸襟を開て此目的を達するの途を講究するにあり、然るに兩者の間には往々意思の疏通を缺くことありて爲めに十分の效果を見ること能ふることあるは甚た遺憾に堪へず、現に一例を舉ぐれば製鐵業獎勵法の如きも兩者の意中か十分に疏通し居たらんには今少し有功なる法律となりしならん、然らば如何して官民の接近を謀らんかと云ふに先づ官より民に接近せしむるの方針を執らざるへからず、何んとなれば民は官に接するを嫌はさるも官は民殊に専門業者に接するを避くるの傾向あればなり、即ち露骨に云へば官吏をして今少し平民化せしむへし故に此合同に付余輩の希望する所の條項も民業者に向ては少く政府に向て多し即ち(一)當該官廳に實地に經驗ある専門家を置くこと(因に製鐵業のみならず凡て工業

を司る官吏殊に其上官たるものは専門家たるの要あるは論を俟たず(二)本業を支配するには單に法律に依らずして成るべく恩と徳を以てすること(三)法令等を發する場合には成るべく民意を容るゝこと(四)政府は常に本業に關し海外に於ける狀況を調査し然るべき方法(例は日本鐵鋼協會を介し)を以て之を民業者に傳ふること(五)官廳か購買品及其他の試験を爲すには極めて親切たること(六)民業者か政府に致せる報告等は詳細にして誠意を缺くへからず(七)民業者は苟も官に媚ふるの疑を招くか如き舉動あるへからず(八)官民兩者は務めて學會、俱樂部等に出入し互に親睦を謀ること。

終に臨んで尙ほ一言述べたきは本邦人中殊に或る社會に於ては共同の念に乏しく一度結はれたる合同も忽にして解散せらるること往々あり、是れ畢竟狹心にして我利の衝突より生する結果に外ならず、固より自己の利益は之を尊重せざるへからざるも同時に他を顧みされは反て遂には自家の損失に歸するの憂あるを免かれず、要するに今日の工業經濟は極めて廣意に之を解釋せざるへからずして同業者間共通の利益の爲には一己の不利不便は多少之を犠牲に供せざるへからざるのみならず、本業自からと之に關係ある他の工業と相互の間に於ても亦た然りとす、抑々製鐵の業は萬業の基にして供給者なり、然るに關係ある他の工業は概ね皆需用者なるか故に兩者の間には自から利害を異にする場合少しとせず然れ共兩者は元來盛衰を共にすべきものなれば其間に必らず利益の共通なかるへからず、故に若し兩者相互の間に利害を同うせざることある場合には宜しく極めて慎重に極めて公平に其輕重を量り重きを取て輕きを捨るの方針を執り相互圓滿の中に根本の目的たる國家諸工業發展の途を講し以て遺憾なからしめんと余輩の希望して止まざる所なり。(完)